

第11回国際冬期道路会議（2002年PIARC札幌大会）概要

1 PIARC（Permanent International Association of Road Congress：世界道路協会）の概要

（1）PIARCの目的

目的

道路のさらなる進歩に向けて、最新技術に関する情報交換を促進するための情報ネットワークを世界中に広げることを目的としている。

設立：1909年

本部所在地：パリ（フランス）

PIARCでは、独自の活動計画に基づき、交通安全、各種交通モードの有効利用、持続可能な開発、投資の効率性などのテーマを念頭に、道路及び道路交通政策の策定と新たな道路技術の開発に貢献することを目指している。

（2）会長等

会長：Olivier MICHAUD氏（スイス）
前会長 三谷浩氏（首都高速道路公団顧問）

（3）加盟国、会員

加盟国：90カ国以上（フランス、イギリス、アメリカなど）

会員：政府会員、地方政府会員（都道府県など）、団体会員（大学、企業など）、個人会員からなり、100を超える国や地域から登録

（4）主な活動

会議等	活動概要
世界道路会議	・世界中の道路技術者と政策責任者が一堂に会し、最新の経験や技術に関する報告及び討議を実施。 ・第21回大会：クアラルンプール（1999年）
国際冬期道路会議	・雪氷対策など冬期の道路管理をテーマとした会議。 ・第10回大会：ルレオ（スウェーデン、1998年）
委員会	・21委員会 ・技術交流と開発に関する委員会、道路輸送と地域開発に関する委員会、交通安全委員会、環境委員会、インテリジェント・トランスポート委員会、冬期道路管理委員会、道路防災委員会等
その他	セミナー、出版など

（5）第一代表

各国の第一代表は公共事業担当大臣から指名され、日本からは国土交通省道路局長がその任にあっている。

2 国際冬期道路会議

(1) 会議の目的

国際冬期道路会議は、雪氷対策など冬期道路管理をテーマとした会議で、論文発表、展示等が行なわれ、最新技術や情報の交換が行なわれる。

(2) 会議招致の経緯

1997年8月21日

2002年第11回国際冬期道路会議の札幌開催を公式に招請（日本第一代表道路局長佐藤信彦氏）

1997年11月27日

PIARC 会議（ジュネーブ）で、第11回国際冬期道路会議を招請。（有料道路課長山川朝生氏（日本第一代表代理））。PIARC 総会で日本の招請を受諾。

1999年2月17日

日本実行委員会を設立（委員長：（社）日本道路協会会長）

2000年2月2日

PIARC 実行委員会（札幌）で、アグリーメント案承認。
仮調印（日本国建設事務次官とPIARC 会長が署名。）

2000年2月23日

本調印式（中山建設大臣とPIARC 会長が署名）

(3) 開催期間と会場

開催期間：2002年（平成14年）1月28日（月）～31日（木） 会 場：札幌ドーム他（2002年のサッカーワールドカップの会場に予定）

(4) 会議の構成

会議は、開会式、閉会式、論文発表の各セッションほか、除雪機械等の展示、シンポジウム、テクニカルツアー、同伴者ツアー、デモンストレーション等

(5) 過去の大会

回	開催年	開催地（国名）
1	1969	ベルヒスガーデン（ドイツ）
2	1971	パロイレ（フランス）
3	1973	ユベスキュレ（フィンランド）
4	1975	ザルツブルグ（オーストリア）
5	1978	ドビアゴ（イタリア）
6	1982	ダボス（スイス）
7	1986	タンペレ（フィンランド）
8	1990	トロムソ（ノルウェー）
9	1994	ザーフェルト（オーストリア）
10	1998	ルレオ（スウェーデン）
11	2002	札幌（日本）